

植物成長調整剤

石原トマトーン



農林水産省登録	第6072号
有効成分	4-CPA 0.15%
性状	透明液体（比重 約0.92）
人畜毒性	普通物（毒劇物に該当しないものを指している通称）
有効年限	5年
包装	(20mL × 10本) × 10函 (100mL × 10本) × 6函

特長

✓ 植物ホルモン「オーキシン」の作用を利用した薬剤であり、トマト、なす等の着果、肥大、熟期を促進します。

✓ 低温、日照不足などの条件下でも着実に着果させます。

✓ 初期収穫量の増加が期待できます。

✓ 石ナス防止にも高い効果があります。

適用作物と使用方法

作物名	使用目的	希釈倍数	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	4-CPAを含む農薬の総使用回数
トマト	着果促進 果実の肥大促進 熟期の促進	低温時（20℃以下） 50倍	開花前3日～開花後3日位 （1花房で3～5花位 開花した時期）	1花房につき1回	散布	1花房につき1回
		高温時（20℃以上） 100倍				
ミニトマト		低温時（20℃以下） 50倍	開花前3日～開花後3日位	1花につき1回		1花につき1回
		高温時（20℃以上） 100倍				
なす		50倍	開花当日	1花房につき1回		1花房につき1回
メロン		着果促進	3～5倍	開花前日～翌日		花こう部に1回
しろうり ズッキーニ	25～100倍		花に1回		散布	
	50倍		開花当日			

※本内容は2018年3月16日付の登録内容に基づいています。

効果・薬害等の注意事項

- 必ず所定の希釈倍数に従って水に溶かして使用すること。同じ花房（花）に重複散布したり、所定濃度以上の濃い液の散布は薬害を生じるおそれがあるのでさけること。
- 頂芽や幼葉にかかると、その部分が萎縮したようになるので、なるべく花房（花）にのみかかるように噴霧すること。
- メロンの花に噴霧をおこなう場合、子房だけに噴霧する時は、使用時期にかかわらず人工授粉を併用すること。また、低温時（20℃以下）には希釈倍数を低くし、高濃度で使用するここと。
- ズッキーニに使用する場合、生育初期の雄花が少ない時期は結実が不安定であり、十分な効果が期待できないので使用しないこと。
- 使い残りの希釈液は4週間程度までの保存はできるが、なるべく早く使用すること。
- 効果の有無は、散布後2～3日すると果梗が太くなり幼果のつやが増し、非常に発育が早くなるのでわかる。
- 使用に際しては、本剤は植物ホルモン剤であるので、使用時期、使用量、使用方法など誤らないよう注意し、とくに初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- 適用作物以外の作物に薬液がかからないように注意すること。
- 他の農薬との混用は行わないこと。
- 本剤散布に使用する容器、噴霧器等の用具は使用の前後に良く水洗すること。

安全使用上の注意事項



- アンプルの首部分を割る時は薬剤が眼などに入らないよう眼や体から離して取り扱うこと。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- 使用の際は、農薬用マスクなどを着用すること。作業後はうがいをすること。

魚毒性等

この登録に係る使用方法では該当がない。

保管

直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。